

第一会場 2B411 教室

8:55 – 9:10	柴田 健司	線虫の寿命延伸に対する米ケフィランの生理作用解析	2
9:10 – 9:25	菅原 賢也	長寿遺伝子を介した線虫のホルミシス効果の解析	3
9:25 – 9:40	高橋 遥	線虫を用いた琥珀エタノール抽出物の生理活性機能の解析	4
9:40 – 9:55	四元 陽香	α -mangostin はメラノーマ細胞のメラニン生成を抑制する	5
10:10 – 10:25	石塚 絢子	光受容細胞で遺伝子を特異的に発現させるメカニズムの解明	6
10:25 – 10:40	田島 由佳子	動物間で保存された <i>Hox</i> 遺伝子群のホヤにおける新規機能の解明 - <i>Hox13</i> による感覚器官の形成-	7
10:40 – 10:55	山路 草太	変態期にホヤ幼生の尻尾が吸収されるメカニズムの解析	8
10:55 – 11:10	松永 杏樹	成体イモリがみせる網膜再生の原理を適用した新規 RPE 培養法の開発	9
11:10 – 11:25	加瀬谷 治樹	大脳皮質ニューロンの神経回路形成におけるセロトニン 4 型受容体の機能解析	10
12:15 – 12:30	佐藤 雪歩	オルガネラバイオロジー：変異型 mtDNA が及ぼす影響	11
12:30 – 12:45	谷 春菜	植物ホルモン様物質がミトコンドリアの機能に及ぼす影響の解析	12
12:45 – 13:00	長島 瑠子	ミトコンドリア tRNA 遺伝子に病原性突然変異を有するマウスの作製	13
13:00 – 13:15	本間 耀	ミトコンドリア病モデルマウスの病態発症機構におけるミトコンドリア分裂の役割	14
13:15 – 13:30	小林 央人	ヘパラン硫酸エンドスルファターゼ遺伝子の成体マウス脳における発現細胞の解析	15
13:45 – 14:00	黒木 崇央	インフルエンザウイルスゲノムの細胞膜へのターゲティングを制御する分子機構	16
14:00 – 14:15	多久 智大	鳥インフルエンザウイルスの哺乳動物細胞への感染性を規定する分子機構の解明	17
14:15 – 14:30	松永 有里菜	骨を溶かす細胞(破骨細胞)が分化する過程で転写因子 MafB は何を行うのか	18
14:30 – 14:45	涌井 宏優	マクロファージにおけるムチン型糖鎖の生理機能解析	19
14:45 – 15:00	岩崎 加奈子	遺伝薬理学的手法による中枢セロトニン神経の除去と睡眠覚醒への影響	20
15:00 – 15:15	吉田 光作	線虫 <i>C. elegans</i> を用いた睡眠を制御する遺伝子の探索	21

第二会場 2B412 教室

8:55 – 9:10	亀井 優奈	カフェインで誘導される新規細胞死経路関連遺伝子の探索	22
9:10 – 9:25	関口 実歩	細胞は右利きか左利きか？－運動方向性の偏りの解析－	23
9:25 – 9:40	吉田 健太郎	逆遺伝学的手法による細胞性粘菌のソリトン様運動関連遺伝子の探索	24
9:40 – 9:55	綿谷 光高	生細胞における三量体型 G タンパク質の活性検出のためのプローブ開発	25
10:10 – 10:25	小林 和真	ゾウリムシの化学受容に対する環境因子の効果	26
10:25 – 10:40	鈴木 菖平	ゾウリムシの繊毛再生とそれに伴う行動反応の変化	27
10:55 – 11:10	酒井 祐貴子	ウシガエル味細胞の電気的特性の解析	28
11:10 – 11:25	中川 将志	イモリ嗅細胞の混合臭刺激に対する応答の解析	29
12:15 – 12:30	森山 大気	USP15 による mRNA スプライシング制御と特異性解析	30
12:30 – 12:45	風穴 彰洋	プロテアソーム制御因子欠損マウスが雄性不妊であることの原因を探る！	31
12:45 – 13:00	相原 拓馬	脳内オートファジーと連動する新規経路の解析	32
13:00 – 13:15	市村 春嘉	ミクログリア応答を制御する新規候補因子の解析	33
13:15 – 13:30	岡島 智美	細胞外因子によるミクログリア活性制御機構の解析	34
13:45 – 14:00	井口 彰	ショウジョウバエ概日時計調節遺伝子の発現メカニズムの追究	35
14:00 – 14:15	松岡 怜奈	ショウジョウバエのステロイドホルモン生合成を調節する新規因子の探索と機能解析	36
14:15 – 14:30	吉成 祐人	生殖幹細胞の増殖を制御する因子の探索－ショウジョウバエを用いた解析－	37
14:30 – 14:45	山岸 美菜	赤痢アメーバにおけるグリセロール生合成経路の同定と解析	38
14:45 – 15:00	倉持 大地	精子における”転写”は、刷り込みメチル化の引き金となるのか？	39
15:00 – 15:15	石坂 望生	繊毛虫 <i>Tetrahymena thermophila</i> の細胞質ダイニン DYH1 の機能解析	40

第三会場 2C404 教室

8:55 – 9:10	加藤 雄大	クロラクニオン藻に近縁な無色ケルコゾア生物の探索	41
9:10 – 9:25	鈴木 大智	ヤブレッツボカビ類における炭化水素高生産株の探索	42
9:25 – 9:40	塚越 智夏	ハプト藻 <i>Chrysochromulina parkeae</i> の培養株確立と微細構造	43
9:40 – 9:55	谷 徳美	塩濃度条件の変化に対するオーランチオキトリウム淡水順化株の脂質合成量の解析	44
10:10 – 10:25	浦尾 唯	トマト果実成熟過程における果実硬度変化に対する塩ストレスの影響	45
10:25 – 10:40	竹内 春樹	ペクチン分解酵素過剰発現イネを用いた環境ストレス応答におけるペクチンの機能解析	46
10:40 – 10:55	柳 英弓	環境ストレス条件下のトマト果実成熟過程におけるアスコルビン酸細胞壁可溶化機構に関する研究	47
10:55 – 11:10	納谷 典明	キシロシダーゼ過剰発現イネを用いた重力屈性の偏差成長における細胞壁機能に関する研究	48
11:10 – 11:25	服部 優理那	シロイヌナズナ切断花茎の組織癒合に関与する細胞壁酵素に関する研究	49
12:15 – 12:30	影山 丈士	アイSprant由来 <i>RBP</i> 遺伝子の機能解析と耐塩性付与を目的としたジャガイモへの導入	50
12:30 – 12:45	宍戸 敦子	ラン藻由来 <i>Δ9 desaturase</i> 遺伝子導入ユーカリの隔離ほ場試験による耐冷性評価	51
12:45 – 13:00	永田 真梧	マングローブの耐塩性遺伝子を導入したジャガイモの作成と耐性評価	52
13:00 – 13:15	小林 安那	CRISPR/Cas9 によるアサガオのゲノム編集	53
13:15 – 13:30	矢澤 美季	GM 作物を用いた食べるワクチンの開発に関する研究	54
13:45 – 14:00	上舘 巧嵩	除草剤多剤抵抗性タイヌビエにおける ACCase 阻害剤抵抗性機構の解明	55
14:00 – 14:15	竹内 優奈	トウモロコシ幼植物体での β -カリオフィレンによる生育促進作用におけるオーキシシンとエチレンの関与	56
14:15 – 14:30	横田 麻梨子	種内での遺伝的多様性と温暖化に対する安定性との関係	57
14:30 – 14:45	草刈 雅和	微生物による植物由来芳香環化合物の代謝に関する研究	58

第四会場 2C410 教室

8:55 – 9:10	鈴木 瑞穂	ヒラタアブ属が示すためらい行動の適応的意義の解明	59
9:10 – 9:25	船本 大智	見た目とミスマッチな受粉様式：ツリガネニンジンにおける夜行性ガ類にたよった花粉媒介	60
9:25 – 9:40	宮田 凌佑	セスジアカムカデ中のアピコンプレクサ寄生虫のリボソーム RNA 系統解析	61
9:40 – 9:55	山下 祐紀子	不完全さび菌 <i>Uredo iyoensis</i> の系統位置の推定と夏胞子の二形性についての検討	62
10:10 – 10:25	柏原 秋穂	ショウジョウバエの痛覚受容シグナルに関わる神経ペプチドの探索	63
10:25 – 10:40	佐藤 智士	新規カルシウムレポーターCaMPARI を使用したショウジョウバエ報酬神経系の解析	64
10:40 – 10:55	相馬 朱里	ショウジョウバエを使用した統合失調症リスク遺伝子 <i>DISC1</i> と脆弱 X 症候群遺伝子 <i>FMRI</i> との遺伝学的相互作用の解析	65
10:55 – 11:10	奥成 潤	人工飼養ミツバチ (<i>Apis mellifera</i>) の幼虫における初期カースト分化関連遺伝子の発現解析	66
11:10 – 11:25	石原 輝人	細胞性免疫に関わるアワヨトウレクチンの機能解析	67
12:15 – 12:30	網本 壮一郎	形成メカニズムの比較からヤツメウナギと顎口類の脊椎骨の相同性を探る	68
12:30 – 12:45	梶野 瑞貴	ワレカラ類における付属肢の発生学的研究—第 3,4 胸肢の喪失と再獲得—	69
12:45 – 13:00	仁戸部 真生	ヒトデのブラキオラリア腕に関する進化発生学的研究	70
13:00 – 13:15	清水 壮	南西諸島および台湾のウスモンアメバチ属 <i>Leptophion</i> の分類学的研究	71
13:15 – 13:30	関口 桂菜	唇脚類における卵巣の比較形態学的研究	72
13:45 – 14:00	Chang Kai Yuan	Experimental Analysis of Effects of Ocean Acidification on Coastal Phytoplankton Community	73
14:00 – 14:15	山崎 航	Thermal performance of the temperate coral <i>Porites heronensis</i> : significance for its future distribution	74
14:15 – 14:30	恵比須 春菜	γ -tubulin 特異的阻害剤 gatastatin の抗腫瘍活性検討	75
14:30 – 14:45	工藤 駿	海産生物由来抗ウイルス活性物質 eudistomin C の作用機構解析	76
14:45 – 15:00	山崎 洋平	微生物由来可逆的 tight junction 開口物質作用機構解析	77